

令和7年度 第8回

日南市教育委員会

会議録

令和7年11月25日(火) 午後3時00分から
日南市役所・別館1階会議室3

- 1 会議の名称 令和7年度教育委員会 第8回会議（定例）
- 2 会議日時 令和7年11月21日（木）
午後3時00分から午後4時20分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文、別府信一、八木真紀子、谷口智子
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
生涯学習課課長
学校教育課担当監
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主任主事
 - 欠席 佐藤泰信
- 4 場所 日南市役所・別館1階会議室3
- 5 傍聴者 0名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和7年度第8回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。今回は佐藤教育委員が欠席です。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【上村課長補佐】
「鬼東部長と重永課長が別会議出席のため、遅れて参加となります。」

【都甲教育長】
「本日傍聴者は0名です。」
- 8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

・10月24日、令和8年度教育施策に対する要望に関する県との意見交換。これには別府委員と一緒にさせていただいたんですけども、主なものとしてはやっぱり人事ですね。人事のことについての意見交換。今なかなか臨時の先生がいないとか、そういう話。

それから働き方改革といったことが話し合われました。

・続きまして10月25日26日。私は細田小学校、それから油津小学校の運動会に行かせていただきました。また皆さんから行かれた学校の感想等を聞かせてください。

・10月27日月曜日、日南学園の調理科に行ったんですけども、これは国スポの弁当のおかず、メニューをちょっと学園の調理科の生徒に頼もうということで、委嘱状を持っていきました。これをもとに、市内の各業者さんが弁当を作るということになると思います。

・それから同じ日、日南学園に中学校の女子のサッカー部があるんですけど、その子たちが大会に出るということで表敬訪問してくれました。

・続いて10月28日、これは子どものための講演会。毎回行っていますが、油津の石井商店さんがお金を1000万円寄付してくださいまして、その中学校分の講演会でした。日南学園も含めて市内の中学生約1200人が集まったんですけども、なかなか面白かったですね。今の子供たちは本当、何か上手ですね。松丸さんがよかったのかな。パンと話を聞く時は聞いて、質問をどんどんして、質問も同じものが続くとパッと切り換えてね。それから松丸さんは帰られたわけですけども、もちろんインスタとかSNSやってるわけです。早速中学生何人かがフォローをして直接お礼を言うとかしたみたいですね。今の子らしいですね。よかったですとかいうことをたくさん声をかけてくれたみたいです。来年小学校なんですけども、この運営をしてみまして、やっぱり1200人を動かすのは大変みたいです。これが小学生になったらもっと大変なんで、ちょっと時間とか考えていかなきゃいけないのかなと思いました。

・それから10月30日、楽しかったですね。県教育委員さんとの情報交換会ということで、やらせていただきました。翌日、県の教育委員さんはうちに来られまして、うちと鵜戸小中に行かれて視察をされたんですけども、うちではレインボープランについて、緒方さんの方が話をしてくれました。非常に興味を持って聞いてくださいました。

・11月2日は大窪地区の運動会に行きました。今回は学校最後ってことで、学校の方が県内の先生方に発信をしたみたいで、大窪小学校勤務経験のある先生が何名も来られました。85歳の方がいらっしゃいました。教え子は私ぐらいですね、60代とか。だから50年前ぐらいの先生ですね。そういうこともありました。

・それから3日の日は日南市功労者表彰式。祝賀会もあったんですけど、うちの教育委員会関係でいきますと、北郷の宮浦さん。女性ですね。ずっと婦人会活動などをやっていただいていた方が表彰されました。

・そして11月4日5日につきましては、県外視察として玖珠町に行きました。後でちょっと別の項目を設けて振り返りをしますので、またその時に意見ををお願いします。

・戻りまして6日、7日は、都城で宮崎県都市教育長協議会がありました。これは県内9市の教育長が集まって毎年やっているものなんですけども、都合で2つの市が来なかったため、7市でやりました。そこでは学力向上について話し合ったんですが、非常に熱心な話になって、やっぱりどこも学力向上をしっかりとやらなきゃいけないっていう気持ちがあるみたいで、非常に参考になりました。

・それから11月8日、グッジョブフェスタ。これは商工会の青年部がやっているんですけど、本当毎年毎年人数が増えておりまして。今年はパティシエさんでしたね、英国屋ってところでやってられる方。それから油津でバーテンをやっておられる方が来られたんですけども、こう見ていてですね、そのパティシエをやっている女性の方が子どもたちに対して、本当に真剣に、仕事はこういうものだということをおっしゃるんです。お金じゃない、お金もそうかもしれないけれど、やりがいとか生きがいなんだということ、本当一生懸命おっしゃられて、あの熱意だけで何か伝わるんじゃないかなと思って感心しました。非常にこのグッジョブフェスタについては、素晴らしい取り組みだと思いました。

・同じ日の午後、日南市PTAの研究大会に行かせていただいたんですが、今回は北郷中の生徒たちがいじめについて発表もしてくれて、ちょっと今までと違った感じでやってくれました。それから、講師の甲斐さんの話も聞いたんですけども、子どもたちに対する付き合い方とか自分の経験を参考に話していただいて、聞きにこられた保護者の方が気づきを持って帰っていただいたらなと思いました。

・それから10日は人事異動のヒアリング。各校長から聞きました。

・11日からは税に関する表彰として、これ市内の4校から5校を今後回っていくんですけども、鵜戸中学校は2人表彰者がおりました。

・そして同日午後、単独訪問で飫肥小学校に行きました。あとでまた行かれた方は感想をお願いします。

・翌日12日、日南市音楽大会でした。2、3年前にコロナが終わってからずっと1日いるんですけども、やっぱり本当に感動しますね。子どもたちの演奏に。やっぱりこれはしっかり先生たちにも残して欲しいし、子どもたちも励みにしてほしいなと思いました。

・14日は潟上小学校に行かせていただきました。

・そして15日土曜日、これ飫肥のまちづくり協議会がやってるんですけども、地域の歴史を学ぼう講演会というものがあまして、宮崎産経大の甲斐先生が来てくださいました。元々県庁職員なんですけれども、日英同盟についてや小村寿太郎のことを話してくださいました。夜の懇親会も出られたんですけども、本当に歴史が大好きな先生のように、熱く語っておられました。

・16日、つわぶきハーフマラソン。私は市長それから議長とかと一緒に表彰をしたんですけども、70代でハーフを走る方がいらっちゃって、すごいですよね。70代の女性の方の到着を待っていたんですけども、でも帰って来られても元気でしたね。もう頭が下がって、もう素晴らしいなと思って、感心するばかりでした。

- ・それから 11 日は単独訪問、南郷小に行かせてもらいました。
- ・19 日から 21 日までちょっと佐賀・長崎に行ってきました。まず佐賀は、飢肥出身の歯医者さん、服部先生って方が刀を持っておられて、それを日南市に寄贈したいってことで、もう 10 月にはいただいたんですけども、刀を二振り。その感謝状を持って行かせていただきました。また日南に飾ってあるって言ったら、ぜひ見に行きたいということをおっしゃっていました。
- ・それから 20 日から 2 日間は九州歴史まちづくりサミット。これ 3 年に 1 回あるんですけど、九州内に 14 市あるんですよ、歴史の由緒のある町が。例えば長崎とか大分の杵築とかですね。この集まりはなかなかのもので、各首長さんが出るのが本当なんですよ。市長さんとか副市長さんが出て、5 分間ずつプレゼンをするんですよ。プレゼンをして意見交換するので、私もさせていただいたんですけど、自分の町をということで、やっぱりどの首長さんも熱いですね。そういう中やっぱり出るのが、建物で言えばその老朽化が進んでいてそれをどう残していくかだったんですよ。それから伝統文化は、それをまた今度はどう残していくか。子供たちにどう残すかとかという話になって、私は 3 年前の会議にも出させていただいたんですけども、3 年前より皆さんが非常に一生懸命討議されていたなっていう感じは受けました。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

10 月 24 日、先ほど教育長からもお話いただきましたけれども、県の教育委員会との意見交換会に参加してきました。3 つの「教職員の確保」あと「教育の情報化」「教職員の働き方改革」というそのテーマで、たくさん活発な意見が繰り広げられておりました。中でも教職員の確保と校務支援システムに関してはやっぱり大きな問題で、この 2 つを解決することによって、働き方改革の改善も望めるんじゃないかと思ったところです。

続きまして、10 月 26 日に吾田東小学校の運動会に参加してきました。これ土曜日に行われた理由というのが、前回選挙の関係で土曜日に行って、その時に土曜日でも問題なくいけると分かったということで、土曜日の開催にされたいんですけども、天気にもすごく恵まれて過ごしやすい環境で運動会をされておりました。始まる前に先生たちが全員で円陣を組んで、声かけをしながらスタートしたっていうところを見てみると、やっぱり吾田東小学校の先生たちのチームワークっていうのが、何かそこで垣間見えるようなところでした。

続きまして 10 月 29 日、鶴戸小中学校の学校訪問の方に参加いたしました。こちらは防災バック等々もいろいろ見せていただいて、非常に参考になるお話がたくさんあったんですけども、小中一貫校の特性を生かして、中学部の先生が小学部への乗り入れ授業を実施されているということで、時間配分等の調整にご苦労はされているようではあるんですけども、子供たちにとっても先生方にとっても、とてもすばらしい取り組みだな

と思ったところです。

続きまして 10 月 30 日、南那珂地区教育委員会の意見交換会に参加しました。こちらの方では 3 つのグループに分かれて意見交換会を行ったんですけれども、各地域での思いや問題を共有することにより、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

続きまして 11 月 4 日、5 日。こちらの方は、ICT を先進的に行っている大分県の玖珠町の視察研修。こちらの方はまた後程ふりかえりにてお話をさせていただきます。事務局の皆様につきましては、本当いろいろとありがとうございました。

11 月 7 日、社会福祉協議会の共同募金審査委員会に出席しました。こちらは募金の取り組みと、あと助成事業に関しての技術協議が行われたところです。

11 月 11 日、飢肥小学校の学校訪問に行ってきました。飢肥小学校では学力向上に向けた研修が積極的に行われており、また特に私が興味を引かれたのが家族で運動に取り組む「家スポ」という活動がありまして、親子で体を動かす時間を作ろうという取り組みなんですけれども、運動不足の解消だけではなくて、親子のコミュニケーションの促進にも繋がる素晴らしい取り組みだと感じたところです。

11 月 14 日、潟上小学校の学校訪問に伺いました。全国学力調査で全国平均を上回っているということで、授業中の子供たちの様子を見たり、先生方の取り組みを伺っていると、その結果にすごく納得したところです。また民生委員や児童委員さんとの意見交換会も行われておりまして、地域との連携をして子供たちを育てる実践が進められているということで、今後もぜひ継続してほしい重要な取り組みだなと思います。

11 月 17 日、南郷小学校の学校訪問に伺いました。南郷小学校に至っては特別支援教室が多い中、先生方による手厚いサポートが行われている様子がとても印象的でした。学力向上の面では、PTA の組織内に学力向上委員会というものを設けておられまして、学校と保護者が連携して取り組まれているということが分かり、本当に素晴らしい取り組みだなと感じたところです。

ちょっと最後になるんですけれども、教育委員会の活動ではないんですが、11 月 2 日の日曜日にあがたまちづくり協議会の主催のエリア 26 というイベントが行われまして、その際に前日の土曜日に事前準備が行われるんですけれども、吾田小学校の伊豆本校長先生がその事前準備に参加してくださって、本当に地域の人と見間違うぐらい一生懸命最後までお手伝いをしていただきまして、地域の方々やまちづくりの役員の方がとても感謝されておりましたので、ご報告させていただきます。

【谷口委員】

10 月 30 日、県教育委員会との意見交換会でした。私と一緒にグループだったのが、保育園の園長先生と加藤さんという税理士の先生と、あと柳委員、そして私だったんですけれども、本当にまだまだ勉強しなきゃいけないなと思うところがほとんどでした。タブレット教育だったり、不登校の問題だったり、学力の向上配慮が必要な生徒に対してどうす

るかなど、それぞれの立場から意見を言うことで、何かこうデジタルもやっぱり素晴らしいけれどアナログも大事だよねってところで。例えば何か物を触って五感でわかることの方が大事だよっていうのを保育園の先生から言われて、はっとして。確かに絵で見て綺麗と思うことはできるけれど、じゃあどんなにおいがするのかなとか、触ってどんな感覚なのかっていうのがやっぱり一番大事だと思いますということを聞いて、やっぱりアナログも大事だよなと思ったところでした。

そのあとが11月4日、5日の県外先進地視察でした。ここはもう本当に楽しみにしていたところで、ここはまた後のふりかえりでお伝えします。

私はこの2つだけだったんですけど、別に11月8日の市Pの研究大会がありました。こちらには教育長と重永課長と佐藤課長代理に来ていただきました。ありがとうございました。やっぱり今回の実践発表も最後までどこにお願いしようかっていうのをとっても迷っていて、PTAの井上会長が「北郷小中のいじめの問題よかったよ」って言って、子どもたちにやってもらうのであればやっぱり人をたくさん呼びたいねってところから、たくさんの方が来ていただいて。やっぱりいじめを子どもたちの目線でどういうふうにやっていったらいいのかなっていうのが、もう本当に子ども目線で来たので、子どもはこんなふうを考えてるんだなあというのが分かりました。講演会のこの甲斐先生の方は県Pの二見さんのご紹介で来ていただいて、「体罰」ってこの何とも言えない言葉がちょっと最後まで同じ市Pのみんなも引っかかって、ちょっと重くなるんじゃないのかなあと思ってはいたんですけど、もう子育てに関わることの触れ合いかた、言葉遣いだったりっていうのがあったので体罰っていう感じではなく、素直にスッとかう入って、最後のアンケートも今までにない以上に皆さんにご協力いただいてよかったとか、子どもたちと一緒に聞いたかったなんていう言葉が入っていました。やりたくない習い事をやらせるのも体罰だよっていうのがとてもなんか心に残って、ちょっと振り返らなきゃいけないなというところでありました。

【八木委員】

1ヶ月お休みして本当いろいろご迷惑かけました。

私は10月30日から活動を始めたんですけど、まず30日に県教育委員会の意見交換会をやりました。別府委員も同じグループだったんですけど、少ない人数でもう本当に話題をあっちでこっちにしたんですけど、いろんなことを話せてとても充実していました。さっき言われたけど、ICT教育についてデジタルもアナログもどちらも大事って、あそこが一番みんな納得したところかなと思いました。

それから11月の14日、渦上小学校の学校訪問に行きました。先ほどもお話ありましたが、やっぱり小規模校ならではの風通しの良さというか、本当に心地のよい学校だなと感じました。学力も高いということですけど、不登校。前に行った時もそうだったんですけど、不登校の生徒がゼロという学校は本当素晴らしいなと思いました。落ち着いた学

校なので、本当に学びやすい環境なのではないかと思いました。

あとは教育委員の活動ではありませんが、協働推進員を佐藤委員と一緒にやっていまして、協働推進対象の審査のほうをさせていただいたんですけど、酒谷とか細田とか、いろいろな地区でやっぱり子どもたちのことをすごく考えて。皆さん、子どもたちのために地域と一緒にやっていこうという本当すばらしい活動の報告がたくさんあったので、感激いたしました。

あと、川崎市がやっているプレーパークの活動の映画と、それからその内容もちょっと。やっている方の講演会を聞いたんですけど、全国ですごいプレーパークが、子どもを自然の中で遊ばせるという、やっぱり五感が大事ということで。火とか水とか泥とか土とか、そういうものを中心にやっている活動が全国で広がっていて。例えば宮崎の附属幼稚園の園長先生も見えたんですけど、附属幼稚園でも年に6回ぐらい取り入れていて、もう一斉ではなく自分の好きなところに行って活動みたいな。そういうことを幼稚園でやっているというところも増えているのかなあと感じました。ただ、附属小学校に行っても自由に好きなところに行って活動してる、というわけではないのかなと。その辺がちょっと気になったんですけども。その時の講演会の内容で、いじめが一番多い学年が、私ちょっとびっくりしたんですけど小学校2年生。次が小学校3年生、次が小学校1年生というデータが出ているとお話がありました。これ、ちょっとどうですかね。これが本当かどうかしっかり確認はしてないんですけども、ちょっとそういうデータが出てるっていうことは、やっぱり低学年、幼稚園。いつも佐藤先生が言われている幼小連携っていうのはすごく大事になってくるのかなと感じました。

話は戻りますが、日南にはプレーパークないだろうなと思ったら1ヶ所ありました。もう油津の方がされているんですね。旧潮小学校の跡地でされているみたいです。

9 前回の議事録承認

第7回の議事録について了承

10 報告

報告1 県外先進地視察についてのふりかえり

(都甲教育長)

県外視察ですけれども、振り返ってみましょうか。まず1日目の中学校の感じは皆さんどうでしたか。ああいう授業の形態をご覧になって、子どもたちの様子とか。率直な意見をいただければと思います。

(別府委員)

最初に授業を見た後に先生たちの話を聞く機会、意見交換会があったんですが、以前はもう少し大変な状況だったっていうのを聞いたんですけど、そんなことがあったんだなって。授業の内容としては、子どもたちもちゃんと授業に向き合っているという様子が見られたので、また今後この子どもたちっていうのやっぱり成長していく過程にあるんだなというのを感じたところでありました。

(八木委員)

私は全体的なことなんですけど、玖珠町の印象は日南市が「出かける教育委員会」とか「夢を語る教育委員会」っていうものを目標していますけど、まさにそういう所だなと思って。本当に夢がいっぱいあって、お客さんをはじめ、教育委員会の皆さんも何かやりたいことがいっぱいあるし、そしていろんなところに出かけて情報を集めてくるっていうのは素晴らしいなと思いました。たった1万3500人っていう少ない、日南市よりも大分小さい市町村なんですけど、例えば義務教育学校を寄付で建てちゃったり。800万、850万でしたっけ。その中で、リースクールとか教育支援センターじゃなくて、国指定でちゃんと教育課程を柔軟化できていることとか。あとバス。スクールバスも、今使ってるスクールバスと違う時間で使って、本当に効率的に使うとか、そういうところまで考えてるってすごいなと思いました。

GIGAスクールについてもなんか頭がいっぱいで、使い始めて3年目ということで、Chromebookを使った授業っていうのを初めて見ました。1年生の英語の授業で、本当にこんなに難しい単語がすぐに出てくるのかと思ったら、その単語は調べていいってことでしたね。そういうふうな授業も、本当に高校生がやるような授業を中1で、しかも半年間でやっているんだなと思うと、ちょっと。見学して驚きました。

公務DXとかあいうものも本当に最初は大変だったって言われましたけど、本当に大変だったと思うんです。けれど、それを乗り越えた3年目のちょうどでき上がったところを私たちは見たので、ちょっと驚きも多かったんですけど、ジュニアICTリーダー事業「GIL」という活動なんかも、自主的に自立性を育てるというか、そういうところがすごく勉強になりましたし、地域資源とICTをミックスするような活動、地域おこしとICTと教育と全部をつなげてっていうところがまた素晴らしいな

(谷口委員)

と感じました。盛りだくさんで全部を理解できたかどうかは分からないんですけど。

最後、英語の先生が「毎授業で3段階の難易度の目標を決めて、それを生徒が自分で選んで達成するにはどうすればいいのか」について考えていますよっていうところが、すごく印象に残りました。子どもたちにとってそんなに無理がないのね、みたいな。私たちが子どもころは、ここまでしなきゃ終わらないとか、ここまでっていう決められた目標があったから、もうできないって途中でなったりしたけれど、生徒自身がこう、自身でいろんな選択肢を選んでやる。全部自分ですること、最後に先生が言っていた「自己肯定感の高い生徒が多いんです」って言う言葉にも納得だと思って。多分自分で決めた目標をクリアするにはどうすればいいのかを考えて、そして達成できるってこの満足感を3年間でいっぱい得る。授業でそういうことをしていたら、すごくたくさん自信がつくんだろうと思います。授業でも子どもたち同士で教え合ったりとか、子どもたち同士で考えたりっていうのがもう当たり前になっていて、もう Chromebook と教科書とノート、もうこれ3つで1つみたいな。私の時はもう教科書とノート、黒板みたいな感じだったんですけど、子どもたちにも当たり前にはあって、当たりの環境で、多分小学校の時からこうやって来てるから、もっとこの Chromebook があることで子どもたちの自信になるんじゃないかなあと。すごく羨ましいなと思いました。日南にもこういうのが来たならば、勉強好きな子も嫌いな子も、少し嫌いな子はちょっと頑張ろうかなと思ったりとか、好きな子はどんどんどんどんもうとんでもないところに行ってしまうりするんだろうなって。少しちょっと楽しみだなあと私は思いました。

(都甲教育長)
(別府委員)

続いて2日目の小学校に関してはいかがでしょうか。

小学校は大体1クラス20人ぐらいの規模でしたよね。ちょうどなんかいいバランスだになっていうのがあって。その中で自分がやっぱりずっと気になってたのが「つくえ+」。タブレットを立てかけているんですよ。落ちないのかなってことをずっと心配してて、どんと行きそうじゃないですか。でもいろいろその先生の話を聞いたりとかしていると、ちゃんと立てかけられるようになっていて落ちないようになっていっているというのが1つと、また教科書を立てたりタブレットを立てたりすることで机が

広く使えるっていうのと、あといろんなやっぱり日南市の先生とかに聞くと、日南市にも小規模校にはありますよね。やっぱりあれが羨ましくてたまらないって。でも日南市で導入しているものをつけるとやっぱり広すぎるんで、つくえ+の玖珠町で使われていたやつっていうのがちょうどいい感じで、机もそんなに狭くならないしと思ったりとかしたところです。ただ吾田小、吾田東、南郷小あたりは、つくえ+をつけたとしてもまだギュッと狭くなってしまうんで、そこら辺は難しいところであるんで、お金の問題があると思うんですけど、それをつけてもいいぐらいの規模感のクラスっていう形になれば、先生たちにとっても子どもたちにとっても、やっぱり良い環境になるのかなと思ったところです。

今回は学力向上というよりもその環境というところに、小学校ではずっと注目していたところでした。

(都甲教育長)
(別府委員)

玖珠町は机の天板を変えたって言いましたよね。

じゃないと付く規格と付かない規格があるみたいなんです。だから日南市の作りがどうなっているのかっていうのを調べなきゃいけないみたいな。

(谷口委員)

中学校で当たり前のように Chromebook を使いこなせているのはこういうことかっていうのが、小学校でやっと納得できた感じでした。毎週火曜日に情報の授業が 15 分間あるって言って、そこでタイピングの練習をして、全校でタイピング大会があって、ば一っとうこう張り出しがされていて、それを 6 年間やって中学校に上がると。それは中学校では当たり前になるよなと思って。保護者目線で見たら、これぐらいの歳の方がこの AI を使いこなすのはとても大変だっただろうなとやっぱり正直思っていて、これが中学校は若い先生がポンとやっていたので、まあまあそうだよなって思ったんですけど、小学校の先生たちはちょっと年配の方もいらっしゃるって、やっぱりいきなりできるようにするっていうのも無理なので、ちょっとずつ慣れていってもらってるんだよっていうのを 1 日目の夜に教育長から聞いて。ちょっとずつ、いきなりは無理なんですよ。ちょっとずつやれば慣れるから、やれば慣れるからって言ったら本当に慣れてしまったって言っていたので、やっぱり先生も保護者の助けを借りて、理解を得て勉強をしながらしているんですよっていうのを聞いて、そうなんだなあって。

あとはもう生成AIでキャラクターとかを作ったり、保健委員・運動会のテーマの作成も全部やっているって聞いて、この絶対小学校であるイベントに自然にAIを入れることで、子どもの運動会で大事なことを学びながらAIも学んでいくっていう。この小学校では1つのイベントで2つ学べるっていうのがいいなあと思いました。もうだからそれ当たり前になるよなあとと思って。4日の夜にChromebookって結局勉強だけっていうよりも、自立の力をサポートする道具だと思っているよって教育長から言われて。もうなんか道具を飛び越えた存在になっていくんだと、こちらもしみになったところでした。

(都甲教育長)

何かこの5日の授業よりも4日の夜の方がいろいろ聞いたような、すごく真剣に話をしてくださって、なんかもうたまらないと思いながら聞いていました。

いや、そうですよ。実は夜は狙ったんです。必要だと思ったんですよ。町に泊まれば夜も意見交換しましょうかって話になったので、やっぱりやってよかったと思うんです。なかなか昼間の会じゃそこまで出てこない。

(八木委員)

最後まで、二日目の昼ご飯まで付き合ってくださいましたね。

(都甲教育長)

小学校の校長なんか、まだ学校訪問も終わっていないのに、前日から夜に来て。だからそういうふうに、昼間なかなか出なかった話とか、苦労話も出たんじゃないかなあとと思って、そういう意味じゃ良かったかなと思ってですよ。僕が昼間の学校を見て思ったのは、僕は生徒指導と学力向上って両輪だと思っているんですよ。学校の中でちゃんとして、学力が伸びていくっていう。僕はどちらかというと生徒指導をしっかりやりたいというタイプだったので、生徒指導をしっかりやっていれば、学力向上もそれにくっついてくるのかなと思ったんですよ。例えば授業をちゃんと聞くとか、先生の言うこと聞くとか。ただ僕はあそこの中学校を見ていろいろ、子どもたち大変だと言いながら、学力向上で自信をつけて、そしてそれを生徒指導に結びつけていくということを感じたんです。だから僕はああいうところに行くと、どうしても子どもたちの顔を見ちゃうんですけど、いましたよね、髪の毛の長い男の子が。やっぱりダンスをしているらしいです。教えていた先生に聞いたら、あの子はやっぱりダンスをされていて、しっかりした子でね。学校に入る前にお

父さんお母さんから相談があって、うちの子はダンスをするからこれでいいですかという話が。いいですよって、あの子は何でも真面目に取り組むし、生徒会なんかにも立候補するって。ああいう子は以前だったら、多分先輩とかが呼び出して「お前何だその頭は」ってなっていると思うんですけど、そういうのもないんですよ。あの子は一生懸命やっているからっていうことを聞いて、そうなんだろうなあと。だから教育長が廊下歩きながら、夜もそうだったけど、盛んに仰られたのは、やっぱり別府委員が言ったように、以前は生徒指導とかが大変でしたね。屋の会議の中の終盤で、自信を持ってる子が多いとか、先生になりたいという子が多いとか出たじゃないですか。やっぱりあれは、もちろん ICT も生かしているけども、ICT を1つの手段として学力をつけてきた。学び方を学んできたっていうので、その結果なのかなと思っています。それを考えると小学校はその前の段階で、まだまだこれからだろうって。あそこは一番大きい小学校なので、言われたじゃないですか。推進協議会を設けて、同じレベルで ICT、GIGA なんかもそろえて唯一ある中学校に行けるようにしているんだと。そういう苦労もあるんだろうなという感じでした。だから僕がちょっと褒め過ぎかなと思うぐらいに褒めたじゃないですか、中学校。いいですね。本当にそう思ったんですよ、やっぱり。勉強とああいう ICT とかやらせて自信を持っている。だから、あれをやるためにはやっぱり Google の力を借りたんだろうなあと。Google がかなりお金以上のことを、してくれているんじゃないですかね、これは推測ですけど。

(別府委員)

自分も Google で学力向上っていうところで最初聞こうかなと思っていただけ、それ以上に今回すごく勉強になったのが校務支援のところで、先生たちが Google を使われているじゃないですか。今校務支援でまずそれに変わるのが、日南市としてはロイロノートになるんですか。それとも C4th になるんでしょうか。

(都甲教育長)

C4th は県全体です。日南市も使っていますね、幾らかこうお金出しながら。

(別府委員)

今回向こうで見た Google のやつっていうのは、C4th に値するものなんですかね。それともロイロノートに値するんですか。

(都甲教育長)

多分大分は県全体でやっていないと思うんですよ。だからあ

	<p>これは、以前玖珠町にものすごく Google に長けた人がいたと、今は教育事務所行っていると言っていましたよね。その人が作ったものがいっぱいあるっていう状況なんでしょうね。</p>
(別府委員)	<p>日南市は Google を使わずにそのまま次も行く感じですか。</p>
(都甲教育長)	<p>C4th も内情を言うと、いろいろ使いにくいところもあったりとかするんですよね、まだまだ。あれは契約なので、また今後どうなるか分からないです。</p>
(別府委員)	<p>結局思ったのが、玖珠町の先生も言っていましたけど、玖珠町では Google のやつを使っているけれど、他市に行ったら全然違うやつを遣うことになるから、やっぱり移動するたびに変わるっていうのは先生たちには相当なストレスになるんじゃないかなと思うので、宮崎県に関しては、もし可能であれば、校務支援だけは統一したものにしてあげた方が絶対先生の負担にもならないだろうなと思いました。あと先生たち、串間はずっとパソコンですよ。串間の先生は、今小学校のタブレットが羨ましくてたまらないって。やっぱり立ち上がり早いし、教えやすい。これもやっぱり端末は好みがあると思うんですけど。これもできればもっと統一を。難しいのかなと思うんですけど、極力なんかうまくできるように。それと型を新しく変える時って、現場の先生が一番混乱するので、先生たちの意見をできるだけ多く吸い上げて、現場の意見が反映できるような、そういった環境が校務支援にしてもできるといいなと思ったのが一番ですね。一番はやっぱり校務支援、県内一律でっていうのが。</p>
(都甲教育長)	<p>C4th は全国でしたか。</p>
(赤池担当監)	<p>全国で 3 県のみとなります。</p>
(都甲教育長)	<p>47 都道府県のうち、3 県のみということですね。</p>
(別府委員)	<p>そうしたことと、うちがロイロノートを使っているっていうのは、また別々ですか。</p>
(都甲教育長)	<p>ロイロノートはもう授業とかに使いますね。授業以外に使っている学校はあるんですか。</p>
(赤池担当監)	<p>使っている学校がないことはないですけども、今のところはロイロノートを使っているいろんな校務を進めるっていうのは、もう C4th で取って代わっているんで、必要性があんまりないんです。</p>
(八木委員)	<p>玖珠町も Chromebook が入る前はロイロノートだったって言ってましたよね。</p>

(別府委員)	そしたら Google を入れなくて C4th とロイロノートでも全然良い感じではあるっていうことですかね。
(赤池担当監)	お金の関係が出てくるので。ちょうど導入時の県の担当だったので、ずっとやっていました。
(別府委員)	来年県がそれを統一するかどうかは分からないんでしょうか。
(赤池担当監)	協議会というのがあって、各市町村の。教育長たちが賛成をすれば継続しますけど、そのあたりもやっぱりいろいろと物価高騰の煽りを受けていて。C4th も Google もってなると、全部システム関係はもうすごく値上がりしているの、どれを使うかはまた。
(都甲教育長)	ああやって言われたけど、大分県内は iPad が多いそうなんですよね。だからやっぱり町が変われば、おっしゃったように。
(八木委員)	構想の部分と 1 人 1 台パソコン端末と、高速ネットワーク環境、クラウド活用の整備って書いてあるんですけど、この高速ネットワーク環境とかできるんですかね。5G とか。
(赤池担当監)	5G になるとかなりのお金がかかるので、例えば椎葉は 5G 入れているんですけども、結局町が全部でやっているからできるのであって、ただ日南はそこそこネットワークが繋がるので、5G 入れなくてもできなくはないですね。不便さはないけれども、みんなで一斉に繋ごうと思ったら、停滞したりとかいうのがあるので、そういったものが。5G を入れたりするとそういったのがなくなりますが、とにかく金額がズドンと上がるので。
(都甲教育長)	携帯会社ももう全然進めてないですよ。もう家に帰ると Wi-Fi があるからって。
(八木委員)	ロイロノートより Chromebook のほうが安い。有料でも安いって言ってました。
(都甲教育長)	だからロイロノートを使う際に別にお金を取られたりするからです。だから今度変えますけど、いろんなそのお金の面も出てくるので、そういうのも全部トータルして考えていく必要があるのかなあと。そういう考えると Google はいろんなものを付けてくれるわけでしょ。
(谷口委員)	研修費も無料で、あとはカッコいいビデオも作ってくれるって言ってましたね。
(都甲教育長)	まだまだ導入しているところも少ないので、今のうちかもし

(八木委員)	<p>れないですね。入れていろいろ手伝ってもらってというか、やっぱり玖珠町なんかはそれに乗っかっているんでしょうね。</p> <p>校務 DX もすごかったですね。いつでもどこでも情報が得られて共有が早い。情報のアップデートができる。AI がチャット会議まとめてくれるとか。こういうのが使えたら、先生たちは本当に楽になるんでしょうね。でもそれまでにはやっぱり絶対大変だったんでしょうね。</p>
(谷口委員)	<p>だからちょっとずつ慣れていってください、できるようになれとは言わないです僕はって、教育長が言っていましたね。</p>
(都甲教育長)	<p>チャットでいろいろやりとりして、何か人間関係が薄くなりませんかという質問した時に、いやチャットで普段話を聞くから、それ以外のことを話すとか言うのがあったじゃないですか。ああそうかと。余計なことを逆に挟まないのが核心に迫れるとか。僕が言ったじゃないですか、精査された雑談ができる。余計なことを取り除いた雑談っていう。やっぱりコミュニケーションが大事だと思うんですよ、対面でいろいろ話す。それをちゃんとやっぱりこう、分けてできる人にならなきゃいけない、先生たちは特に。子どもたちにもやっぱり今後やっぱりチャットとか使って、ああいう相談とかしてくるし。その時にチャットを見てすぐ動かなきゃいけないっていうのが大事だって、先生たち言ってたじゃないですか。</p>
(別府委員)	<p>だからあえて違う支援ソフトを使った方が、新しい先生に教えるコミュニケーションのツールになるかもしれないですね。</p>
(谷口委員)	<p>コミュニケーションツールって言っていましたもんね。</p>

12 議事について

議事 1 12 月議会上程議案等について

(鬼東部長)	12 月議会上程議案等について説明。(学校教育課)
(重永課長)	〃 (生涯学習課)
(都甲教育長)	<p>以上が 12 月議会にあげる内容なんですけれども、何か質問はありますか。</p>
(別府委員)	<p>ボックスの関係もあるんだと思うんですが、来年から Chromebook を入れるんですよね。HP の落としても壊れなかったりするめちゃく</p>

(赤池担当監)	<p>ちゃ強いものがあると思うんですが、それが入るんですか。</p> <p>これはリースとなりますので、どれを入れるかは選べないようになっているんです。ですので、HPが入るのかもしれませんが、そうじゃないかもしれないですね。そんな状況です。</p>
---------	--

議事 2 他課との意見交換会について

<p>(武田主任主事)</p> <p>(都甲教育長)</p>	<p>他課との意見交換会について説明。</p> <p>未来創生課が快く受け入れてくれたということで。いろいろと疑問等があると思うので、ぜひ聞いていただいて、盛り上げていただければと思います。</p>
--------------------------------	---

1 3 その他

(1) 児童生徒数の状況について

【鬼束部長】

この資料はご覧の通り、児童生徒数の数字を記載したものです。今後の児童生徒数の推移について、例えば市の PTA 協議会でありますとか、いろんなところからそういう推移を教えて欲しいとかいう話もありますし、また議会の方で今後の学校の再編についてどう考えてるのかという質問等もありましたので、それも踏まえてこの児童生徒数の推移についてこの表を作成したところでございます。

まず一番初めに、一枚目が総括表になっておりまして、各小中学校の令和 7 年度から令和 13 年度までの児童生徒数推移というふうになっているところでございます。7 年度につきましては今年度ですので、これは実数になっております。ただし 8 年度以降については、あくまでも住民基本台帳に登録されている数字を記載しておりますので、例えば特認校であったりとか、校区外に行かれている方とか、あと中学校に関しては日南学園の中学校に行かれる方とかもいらっしゃると思うんですけど、そこは一切加味しておりません。あくまでも住所地でどこの学校に行かれるかということを機械的に配分した数字となっておりますのでご了承いただきたいと思います。一番左端の令和 7 年度と一番右端の令和 13 年度を比較していただけたらと思います。一番下に合計が出ておりますが、令和 7 年度が小中合わせて 3319 人。これが令和 13 年度には 2 つ合わせて 2632 人となります。また小学校がちょうど中段ぐらいにありますけれども、今年度 2196 人が、13 年度には 1561 人となります。また中学校の 1123 人が 1071 人となります。こういった形で、児童生徒数がそれぞれ減っていくということになっております。

次のページ以降が、今度は各学年ごとの内訳を入れております。7 年度から 13 年度ま

で書いております。令和7年度と令和13年度を見比べていただけると、この児童生徒数が減りようというのはもうこれでわかると思います。特にこの令和13年度のところを見ていただきたいと思うんですが、令和13年度の1年生2年生それぞれ200人ぐらいずつです。3年生は250人ぐらいですので、すごくここでも減りようが顕著になってくると思います。特に令和13年度になると、もう鶴戸小学校とかは新入生ゼロとかですね。そういった形になってくるところで、中学校に関しましてはまだ辛うじて300人ぐらいを保っておりますけども、これが令和13年以降に小学校1・2年生の子どもたちが中学生になった時はそれぞれここが200人ずつとなりますので、この中からまたさらに日南学園の方へ何人が抜けていきますので。そう考えた時に、この中学生の数も令和19年度や令和20年度になると、この小学2年生1年生の子供たちが中学生になりますので、そう考えると、さらに数が減っていくというような形になっております。

次に、横刷りの数字を見ていただきたいと思います。各学校の現状ということが書いてありますが、児童生徒数につきまして、私が先ほど説明した通りとなっております。令和7年度から令和13年度で690人の減少となっております。学級数もご覧の通りとなっております。今現在教育委員会としては、この学校の統廃合については全くの白紙という形で、議論の内容によってちょっとそこまで踏み込んでいくという形にしていきたいと思っております。第1段階としては情報提供だけ、第2段階でそういった議論の場を設けて、第3段階で場合によってはそういう今後のあり方を議論していくというような形で考えているところでございます。

最後のページはグラフ化しているものでございますので、こちらの方はまたご参照いただきたいと思います。簡単ですが説明は以上です。

【都甲教育長】

どうですかご覧になって、何かご質問とかご意見ありますか。

【八木委員】

増えているところもあるんですね。びっくりしました。

【鬼束部長】

そういうところもあるんですが、あくまでもこれは住基から引っ張ってきていますので、例えばこの中から先ほど申し上げた通り、日南学園に行ったりとか、大きな学校へ行ったりする可能性があります。

【谷口委員】

もうこの1人とか、どうやってコミュニケーションを取るんだろうとか、友達はどうかとか心配になりますね。入学1人とか。

【都甲教育長】

だからさっき部長が説明した中であったのは、やっぱり地域の人とかが「だんだん子どもの数減ってきたね、どうにかせんといかんね」という雰囲気をやっぱ待ちたいなと。あんまりこっちが主導してさあしましうかって言うものでもないし、やっぱりそこら辺は地域の方の気持ちを大事にしながら、一緒に考えていきたいなというところですね。これはどの学校も同じようにできるものでもないで、そこら辺は慎重に行きたいなと思っていますところ。新たに小学校の特認校制度で今 10 人ぐらい児童さんがいますので、そういったところもまた地域との協議の中で話題になるかなと思います。

(2) 12 月行事予定について

(3) 他課との意見交換会

- ① 日時 令和 7 年 12 月 19 日（金）午後 1 時 30 分から
- ② 場所 ふれあい健やかセンター 3 階 教育委員会応接室

(4) 定例教育委員会

- ① 日時 令和 7 年 12 月 19 日（金）午後 3 時から
- ② 場所 ふれあい健やかセンター 3 階 教育委員会応接室

(5) その他

1 4 閉会